

## ごあいさつ

この度は、～ものづくり企業を丁寧に繋ぐ BtoB マッチング～「京都ビジネス交流フェア 2021」サイトを御覧いただき、ありがとうございます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関して、緊急事態宣言の発出に伴い、行動自粛、営業自粛等に御協力いただいている皆様、そして今もなお第一線で御奮闘いただいております医療従事者をはじめ、すべての皆様に、改めて心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が我が国でも猛威を振るい始めてから、およそ1年が経ちました。科学技術の進歩によって高度に発達してきた私たちの文明が、パンデミックはもちろん、依然として気候変動、資源問題などの課題を地球規模で抱えていることに人類全体が改めて気づかされました。その結果、それらの積み残されてきた課題解決を通じて強靱で柔軟な社会の再構築、持続可能な経済の再構築へと舵を切る動きが加速しようとしています。

この間、京都の産業界においてもこうした世界の潮流に呼応し、医療崩壊や感染拡大を防止するため自社の優れた技術を用いた新製品の開発、WITH・POST コロナ時代を見据え5Gなどの次世代技術を積極果敢に採り入れた新サービスの開発などが次々と行われてきました。また、厳しい経営環境を乗り越えるために企業同士が連携し、それぞれの強みを組み合わせて新しいビジネスモデルを生み出す「助け合いの輪」が大きく広がるなど、頼もしく、そして誇りに感じます。

京都府におきましても、「危機克服会議」を設置し、WITH・POST コロナ時代の産業戦略に対する徹底した議論を重ねるとともに、公益財団法人京都産業21と連携し、各種補助金等による伴走支援、マッチングサイトの開設、オンラインやリアルを組み合わせた商談会・人材育成プログラムなどの開催等を通じて、中小企業の皆様が市場ニーズや産業構造の急激な変化に対応するための支援を続けてまいりました。

今回の「京都ビジネス交流フェア 2021」は、こうした1年間の取り組みの集大成です。世界との競争がますます熾烈を極める中、本フェアを通じ、京都の中小企業の皆様と御来場の皆様が、業種の垣根を越えた交流の中から、新たな連携先の開拓や将来に繋がるビジネスアイデアを発掘され、未来に繋がる新たな希望を見い出されることを、心より祈念申し上げます。

京都府知事 西脇 隆俊